

7月22日：出来高は少ないが、VN指数は反発

全ての業種の大型株が幅広く買われたことで、マーケットは回復した。しかし出来高は引き続き少なかった。

前日午後の取引に下落したホーチミン市場のVN指数は、この日1,300ポイント近くまで上昇し反発した。1.8%（22.88ポイント）上昇した同指数の終値は1,293.67ポイントだった。

値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、308銘柄が上昇、79銘柄が下落した。一方で出来高は低迷したままで、売買高が5億3,640万株以上、売買代金が17兆ドン（7億4,020万米ドル）を超えた。

「急落からマーケットは回復しているため、出来高が少ないことは普通なことだ」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

全業種の大型株の上昇を受け、VN指数は上昇した。VN30指数は1.56%高の1,428.48ポイントで取引を終えた。同指数組入銘柄のうち、29銘柄が上昇し、1銘柄が変わらずで、下落した銘柄はなかった。

不動産株は引き続きマーケットの上昇を牽引した。中でもビンホームズ（VHM）は値上がり寄与度でトップとなり。2.78%上昇した。それに続いて、ビンググループ（VIC）、ベトナムゴム工業グループ（GVR）、ベトコムバンク（VCB）、ペトロベトナムガス（GAS）がそれぞれ1.3～4.3%上昇した。

他の銘柄ではビナミルク（VNM）、ヴィエティンバンク（CTG）、ベカメックス IDC（BCM）、テクコムバンク（TCB）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、FPTグループ（FPT）が堅調な動きを見せた。全て1%を超える上昇となり、特にBCMは7%のストップ高を付けた。

だが、その一方でサイゴンビールアルコール飲料（SAB）、ハイファット投資（HPX）、ペトロベトナム低圧ガス販売（PGD）はさえない動きが続いた。

「月曜日に株式への投資割合を半分ほどに増加させた投資家は、今後のマーケットの動向に注意を払うのが良い。そして、もしVN指数が上値抵抗線である1,300~1,325ポイントを付けるなら利益確定売りをするのが良いだろう」（サイゴンハノイ証券）

ハノイ市場のHNX指数は1.72%高の305.97ポイントだった。

売買代金が2兆1,600億ドンで、売買高が9,734万株を超えた。

一方で外国人投資家は引き続きハノイ市場で5,075億1,000ドンを売り越し、ホーチミン市場では85億8,000万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。